

# “ともに立ち上がろう！”

## JBU 救援ニュース < 第 8 号 >

基幹労連  
東日本大震災  
中央災害対策本部  
2011年4月15日(金)

～被災された多くの皆さまに心よりお見舞い申し上げます～

### ◆ 現在の被災状況

現在掌握できている組合員の人的被害は次のとおりです。

4月15日現在 死亡11名、安否未確認2名

### ◆ 連合ボランティア第2陣 ～基幹労連は釜石地区で奮闘中～

4月10日(日)から4月16日(土)まで、連合ボランティア派遣団第2陣として基幹労連から20名が参加し、担当地区の釜石において、住居の泥の掻きだし、家財の搬出など復旧作業を行っています。

#### □これからボランティアに行かれる方へ

- ・基幹労連ホームページトップの「連合救援ボランティアレポート」ボタンをクリックしてください。現地での活動状況や注意事項が掲載されています。
- ・釘やガラスが散乱している所での作業となります。安全機能のある長靴、鋼板入り中敷き(釘・ガラスの踏み貫き防止)を準備してください。また手袋はできるだけゴム手袋と軍手を二重にするなどの対策をお願いします。
- ・手洗い・うがいを徹底してください。
- ・宿舎の洗濯機は1台を60人(連合全体)で使用するようになるため、殆ど使用できません。手洗いした洗濯物を干すことはできます。
- ・被災地への移動バスでは作業終了後、長靴を履き替える方が良いため、靴(運動靴・サンダル等)の持参をお薦めします。(明日出発の第3陣へは産別本部より対処・徹底します)

#### □ボランティア体験談(その1)～気仙沼地区～



泥だらけでめちゃくちゃになった家を何とか早く片付けようとして、作業に夢中になり、実は私たちは最も大事な被災者の気持ちを置き去りにしたのではなかったか…と途中で大いに反省しました。私たちにとってはヘドロまみれの服や写真で、たとえ持主に『棄てていい』と言われても、被災者にとっては思い出の詰まった大切なものです。作業が遅れても、もっと丁寧に扱うべきで、もっと被災者の気持ちに寄り添った労働組合ならではのボランティアをしなければいけないのではないかと

気持ちを入れ替えました。ボランティアはまだまだ長丁場でこれからが本当のスタートです。私たち労働組合は本当に現地に頼られているので、切れ目無く、最後までやり続けなければならないと感じました。また私のように現地に行かせて頂く人だけでなく、本部で対策を練る人、職場で仕事をカバーしてくれる人、政策面で被災者を助ける人など、立場は違っても、基幹労連全体で復興をめざしていることをあらためて噛み締めました。

頑張る、ニッポン！ご安全に！ 基幹労連本部・西野(次号から構成組織の方に寄稿頂きます)

## ◆ 基幹労連「東北地方太平洋沖地震支援カンパ」にご協力をお願いします！

3月14日より、被災した組合員への支援を中心とする「東北地方太平洋沖地震支援カンパ」を実施しており、本日を第1次集約としています。

4月15日15時現在、

173組織・個人（94、125名）のご協力により

¥45、075、251円の浄財を頂いています。

誠にありがとうございます。

現在掌握できている組合員の人的被害状況は、死亡11名、安否未確認2名です。また、ご家族や家屋等の被害は、未だ甚大な被害のため集約できていない状況にあることから、多数の被害が予想されます。

被害に遭われた組合員とご家族の皆様を中心に、今後の復旧・復興に向けて、少しでも役立てていただけるよう、助け合いの観点から基幹労連に加盟する皆様からの特段のご支援をよろしくお願いいたします。

第2次集約は4月22日(金)となっております。

ご協力のほどよろしくお願いいたします。

### <取り組み要綱>

※3月14日付基発No155より抜粋

1. 取り組み期間 第2次集約 ～4月22日(金)  
以降も受け付けますが極力第2次集約までをお願いします。
2. 対象と形態 被災地を除く構成組織組合員による自主カンパ
3. カンパ方法 各組合に一任
4. 集約 加盟組合ごとに取りまとめの上、下記に振込ください。

### <振込先>

中央労働金庫 日本橋支店 普通預金

口座名：「基幹労連 東北地方太平洋沖地震義援金」

口座番号： 3581372

以上

<基幹労連本部連絡先> 電話 03-3555-0401

土日・祝日・夜間(携帯電話)080-1126-4134

基幹労連中央災害対策本部ニュース⇒ [www.kikan-roren.or.jp](http://www.kikan-roren.or.jp)